

熊野町のいしぶみとたずねて 第5回

～ 平谷説教場に建つ石碑 ～



▲左から説教場修繕記念碑、公德碑、校地記念碑



▲平谷説教場全景（広電バス浄光寺バス停前）



公德碑 建立：昭和28年5月 形状：高さ120cm、幅72cm、奥行50cm
公德碑には、「佃 次郎平氏は、明治12年、平谷説教場建立にあたり、多大の犠牲も省みず、率先、敷地を無償提供後遂に寄附せらるるに至る。依って、氏の徳をたたえて之を建つ。台信恵水書 昭和28年5月吉日 平谷区民」と記されている。

この一文から察するに、説教上の位置している土地の所有者であり、当時平谷村の初代区長でもあった、佃 次郎平氏の平谷村に対する多大なる奉仕精神と深い信仰心が伺える。また、同時にこれらの意味するところは、当時の平谷村の人たちと、その後永々と彼らの精神性を受け継いで守り続けてこられた諸先輩たちの強い自治意識と熱い宗教観をも表しているように思われる。



校地記念碑（本庄北尋常小学校）

建立：大正元年10月 形状：高さ128cm、幅59cm、奥行17cm



本庄北尋常小学校に建立されていたが、本庄村が熊野町に編入された際に学校が廃止されたため、平谷説教場へと移転された。

◀熊野トンネル前の辺りに本庄村の北尋常小学校があり、現在の碑が建っていた。

平谷説教場

古くは戦国時代、この地・平谷は、今の矢野ヶ坂・焼山・押込・川角辺り一帯と同様に、野間城（毛利以前？）の支配下にあった。当時、その野間城支配下の元、今の寺屋敷に「長慶寺」が在り、平谷村の人たちも又その「長慶寺門徒」であった。その後、「長慶寺」は矢野の現在位置に移転し、平谷（川角）村の人たちはそのまま「長慶寺門徒」として現在に至っていること。

この様に「平谷と長慶寺との関係性」は、歴史的に見ても深いものがあり、現在に至っている。尚、「平谷説教場」の建立に際しては、長慶寺の従属的な分寺としてではなく、前述したように、平谷の先人達が自らの自治意識と熱い信仰心を持って成したものである。

以降、現在に至るまで「浄土真宗派の説教所プラスα」として役割を果たしてきたようである。

取材／民法・時光・片川・沖田

議会・委員会活動等紹介

■議員視察研修

6月25日から27日にかけて、議員による視察研修を行った。

法政大学・法政大学地域研究センター

25日には、法政大学及び法政大学地域研究センターを表敬訪問し、法政大学の沿革や地域研究センターの役割などの説明を受けた。

法政大学の研究所である地域研究センターは、地域の実情にあった実証的な研究をしており、全国でも30



▲法政大学での研修のようす



▲小布施町長より説明を受ける

程度の自治体のサポートを行っている。熊野町は今年の3月に法政大学と地域連携協定を結んでおり、今後の熊野町の発展の一助となることが期待される。

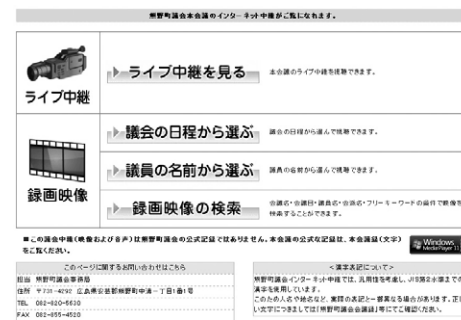
長野県小布施町・高山村

26日には、法政大学と協定を結んだ先進事例研究として長野県小布施町、また隣村の高山村を訪れた。小布施町では、町長から「協働」と「交流」のまちづくりについて説明を受けた。江戸時代後期に千曲川の船運で栄えた小布施町は、当時葛飾北斎など多数の文人墨客を招き、文化の

インターネットで 議会の録画中継を配信！

熊野町議会インターネット中継

▶ 即議会トップへ ▶ 操作説明へ



インターネットによる議会の生中継に続き、平成24年第3回定例会（6月）分から録画による配信も始めた。

町のホームページを開いて「議会議中継」を選び、録画中継の「日程」や「議員の名前」などのメニューから、見たい映像を選択することができる。

直接議場に来られない方にも視聴いただくことで、多くの方に議会と行政について、より関心と理解を深めていただきたい。

薫り高い雰囲気が残されている。それらを生かした「北斎館（美術館）」の建設や周囲の景観を整備した「街並修景事業」により、交流人口を増加させるとともに、景観に対する町民意識の向上を図ることができている。

さらに町民や様々な大学・研究機関、企業との協働のまちづくりを進め、多くの力が合わせられたまちづくりが成功を収めている。高山村では、老化を遅らせ、健康寿命を延ばすアン

チエイジング事業が行われており、運動・栄養・休養などでバランスの取れた取り組みが行われ、その拠点として、足湯などの施設が併設されたアンチエイジングの里が整備されている。

長野県須坂市

27日には、須坂市を訪れ、歴史的町並みの整備について説明を受けた。

明治から昭和初期にかけて製糸業で栄えた須坂市は、当時の繁栄の名残である土蔵造りの建物が多く建

築されている。蔵の街並み整備により、新たに开店する事業者が見られ、また、大学や専門学校に対して歴史的建造物を貸し出して授業や研究を行うといったような、若い力による活性化の取り組みも行われている。



▶ 須坂市での蔵を利用した会議室